

※このGoogleドキュメントには絶対に書き込まないでください※

※書き込みたい場合は「ファイル⇒コピーを作成」で別ファイルを作ってください※

Webライターラボ 添削会

構成の作り方

※構成の基本的な作り方については、Webライターラボの以下コンテンツをご参照ください。（パスワードはDiscordの #パスワード を参照）

◆構成作成の実演講座

- ①<https://webwriter-lab.net/kousei/>
- ②<https://webwriter-lab.net/231006-teian-tensaku/>

◆構成を添削している添削会動画

- ①<https://webwriter-lab.net/221119tensaku/>
- ②<https://webwriter-lab.net/221216tensaku/>
- ③<https://webwriter-lab.net/220910tensaku/>
- ④<https://webwriter-lab.net/230617tensaku/>

◆WritingBegin（SEOについて）

<https://nakamura-editing.co.jp/writer/writingbegin/>

応募内容（応募者より）

■KW「Web面接」

■ペルソナ

これからWeb面接を控えている就活生

■記事の目的・用途

就活メディアへの営業用のサンプル記事

■記事のゴール・訴求先（ペルソナに成約させたい商品やサービス）

就活サービス（求人サイトやエージェントなど）への登録

■想定文字数

見てほしいポイント(応募者より)

①上位記事だけでなく書籍も参照し、独自性が出るように執筆しましたが、あまり出せなかったかもしれません…。

ペルソナにとって役立つ情報を厳選できているかチェックしてほしいです。

総評 & チェックポイント

・書籍も参考にされていて、すばらしいです◎

・文章も内容も特に問題はありません！

さらにペルソナ(就活生)の役に立つ情報を入れるなら...という観点で見えていきます。

構成

Web(オンライン)面接の流れを徹底解説

- 1: 面接用のURLを受け取る
- 2: 開始5分前に待機する
- 3: 面接が始まったらあいさつする
- 4: 質問に回答する
- 5: 面接が終了したらあいさつをして退室する

Web(オンライン)面接の事前準備5つ

- 1: インターネット環境を整える
- 2: 機材をそろえる
 - デバイス
 - イヤホン
 - Webカメラ
- 3: 使用ツールをチェックする
- 4: 面接場所を確保する
- 5: 基本的な質問事項を確認する

Web(オンライン)面接チェックリスト

知っておきたい！Web(オンライン)面接のマナー3つ

- 1: 質問が聞き取れなければ遠慮なく聞き返す
- 2: 服装はスーツを着用する
- 3: 背景や映り方に気を配る

こんなときはどうする？Web面接のトラブル対処法

[Web\(オンライン\)面接の気になる疑問](#)

[1:カンペは使用しちゃいけないの？](#)

[2:Web面接はスマホでもいいの？](#)

[3:Web\(オンライン\)面接後にお礼のメールをするべき？](#)

[まとめ](#)

▼▼▼ 本文 ▼▼▼

Web(オンライン)面接の流れは？準備やマナーを徹底解説！

ビデオ会議ツールを使用して面接を行う「Web(オンライン)面接」は、コロナ禍以降に急速に広まりました。

面接の内容自体は対面とほとんど変わらないものの、オンラインならではの注意点を覚えておかないと、思わぬ失敗につながってしまうことも。

そこで今回はWeb面接の流れや準備、マナーを徹底的に解説していきます。Web面接を控えている方はこの記事最後まで読んで、万全の状態面接に臨みましょう。

Web(オンライン)面接の流れを徹底解説

まずはWeb(オンライン)面接の流れを解説していきます。

1: 面接用のURLを受け取る

面接前に企業から、面接日程とビデオ会議ツールの面接用URLがメールで送られてきます。

多くの場合は送信用のメールアドレスが使用されているので、返信の必要はありません。

しかし場合によっては面接に参加する意思を示すために返信が必要なケースもあります。文面を最後まで確認し、メールに返信すべきかどうか判断しましょう。

2: 開始5分前に待機する

Web面接が始まる5分前には入室し、面接官を待ちます。

たとえ面接開始前であっても、時間ギリギリの入室は絶対に避けましょう。アプリの更新が必要だったり、ログインが上手くいかなかったりして、開始時間に遅れてしまう可能性があるためです。

遅くとも10分前にはビデオ会議ツールにログインし、5分前には入室しておく、余裕を持って面接に臨めます。

3: 面接が始まったらあいさつする

面接官が入室したら、面接官の言葉を待つのではなく自分からあいさつをします。一言目は自己紹介をしたり、接続状態を確認したりするといいでしょう。

例えば以下のようなあいさつが考えられます。

- 「はじめまして、〇〇大学の△△と申します。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。よろしくお願いします。」
- 「こんにちは。本日はどうぞよろしくお願いいたします。私の声は問題なく聞こえていますでしょうか。」

4: 質問に回答する

あいさつを終え、質疑応答が始まったら面接官に好印象を与えられるように回答していきましょう。

その際のポイントは、オンラインでのコミュニケーションを意識すること。

Web面接の場合、インターネット環境やデバイス、設定の違いによって、自分と面接官とで通信状況が異なります。だからこそWeb面接は聞き取りやすさを重視して、はきはきと滑舌よく受け答えをすると好印象につながります。

印象を上げるためには、カメラを見ながら回答することも大切です。画面ではなくカメラを見つめて答えると、面接官に「自分を見て話している」と認識してもらえます。

面接官の話を聞くときは、相槌を大きめに打つことで真剣に聞いていることを伝えるのも効果的です。

5: 面接が終了したらあいさつをして退室する

面接が終了したら「本日はお忙しい中、お時間いただきありがとうございました。」とあいさつし、一礼しましょう。

その後は面接官が先に退出する場合もあれば、退出を促されるケースもあります。どちらにしても勝手には退出せずに、面接官の行動や指示を待つことが大切です。

Web(オンライン)面接の事前準備5つ

Web(オンライン)面接に臨むにあたり、必ず事前に準備しておきたいのは以下の5点です。

- インターネット環境を整える
- 機材をそろえる
- 使用ツールをチェックする
- 面接場所を確保する
- 基本的な質問事項を確認する

それぞれ詳しく解説していきます。

1: インターネット環境を整える

Web面接までに、インターネット環境を整えておきましょう。

万全を期すのであれば有線LANを用意しておくことがおすすめです。普段問題なく利用しているWi-Fiであっても、時間帯や状態によっては使用できなくなる恐れもあるからです。

Wi-Fiなどの無線接続で面接を受ける場合には、Googleの「インターネット速度テスト」などで通信速度を調べておきましょう。

2: 機材をそろえる

Web面接に必要な機材は以下の通りです。

- デバイス
- イヤホン
- Webカメラ

それぞれの機材における確認事項をさらに細かく解説していきます。

デバイス

Web面接はスマホやタブレットなどでも受けられますが、できるだけパソコンを使用するのがおすすめです。有線接続ができて通信が安定するのはもちろんですが、画面が大きいため面接官の表情を観察しやすいメリットもあります。

パソコンにトラブルが起きた場合に備えて、スマホは面接では使用しないのがおすすめ。スマホは企業と緊急用の連絡を取り合うための予備機として準備しておくのがいいでしょう。

どうしてもスマホでWeb面接をする場合は、以下のような対応をしておくことで面接官にストレスを与えません。

- 無線での面接になるので、通信速度が十分かを確認しておく。
- 画面を広く活用するために、自動回転をオンにして横置きにする。

- 映像のブレをなくすために、スタンドで固定する。

どのようなデバイスを使用するにしても、十分に充電を行い、「面接の途中で充電が切れてしまった」という事態は避けましょう。

イヤホン

Web面接時にはマイク付きイヤホンを活用するのがおすすめです。

「パソコンなどのデバイスにはマイク機能がついているから、イヤホンは必要ないのでは？」と考える人もいるかもしれませんが。

しかしイヤホンを使用しないと、面接官の質問が自分のマイクに入って聞き取りづらくなってしまう「ハウリング」を引き起こす恐れがあります。

面接官の質問にしっかりと集中し、回答しやすくするためにもイヤホンは着用しておきたいところです。

Webカメラ

使用するデバイスにカメラがついていなかったり、画質が不鮮明だったりする場合は、Webカメラを用意しましょう。（十分な画質のカメラがデバイスに内蔵されているのであれば、新たに購入する必要はありません。）

カメラの位置は、目線と同じくらいの高さに調整してください。面接官と目線を合わせやすくなります。

カメラが低い位置にあると、面接官を見下ろすような映り方になってしまい、マイナスな印象にもつながります。スタンドなどを活用し、カメラの位置を調整して映り方を確認しておきましょう。

3: 使用ツールをチェックする

Web面接で使用されることが多いビデオ会議ツールは以下の4種類です。

- Zoom(ズーム)
- Skype(スカイプ)
- Google Meet
- Microsoft Teams

ビデオ会議ツールの操作方法是あらかじめ確認しておくで安心です。登録やインストールが必要な場合もあるので、一度実際に使用してみて画面の映り方や音声などを確認しておくといいでしょう。

「ビデオ会議ツールを使用したことがあるから大丈夫」と考えて、油断するのは禁物です。

アカウント名が本名以外の設定になっている場合は、本名に変更しておきましょう。アカウント名にハンドルネームを使用していると、準備不足とみなされるのはもちろん、面接官が本人確認もできません。

アイコンが有名人の写真やアニメのキャラクターなど面接の場にふさわしくないものの場合も変更が必要です。必ず顔写真を設定しなくてもいいですが、面接官に不快感を与えないようなアイコンにしましょう。

4: 面接場所を確保する

Web面接をするのであれば、自宅の個室で行うのがいいでしょう。自宅であれば周囲の雑音が入らないような部屋を選んで、落ち着いて面接を受けられます。

やむを得ず自宅以外の場所で面接を受けるのであれば、以下のようなスペースの利用が考えられます。

- 貸会議室
- ホテル
- コワーキングスペースの個室

できるだけ防音性の高い場所を選ぶことで、雑音や人の声が少なくなります。

どうしても周囲の音が入ってしまう場所で面接を受けるときは、あらかじめ「事情のため自宅ではない場所で面接を受けている」という状況を伝えましょう。

5: 基本的な質問事項を確認する

Web面接といっても、聞かれることは対面の面接と変わりはありません。基本的な質問事項に対する回答を確認しておき、面接に備えましょう。

基本的な質問事項は以下の通りです。

- 自己紹介
- 自己PR
- 学生時代に力を入れて取り組んだこと
- 学生時代の研究テーマ
- 志望動機
- 逆質問

面接を受ける際は手元に履歴書やエントリーシートなどの提出資料を置いておくと、記載内容に言及されたときに、すぐに確認できます。

Web(オンライン)面接チェックリスト

Web面接の直前になったら、以下の準備ができているか確認し、万全の状態で行きましょう。

- デバイス(パソコン・スマホ・イヤホンなど)が十分に充電されている
- デバイスの通知設定をOFFにしてある
- カメラの位置が目線と同じくらいの高さになっている
- トラブルや緊急時のために、企業の連絡先を控えてある
- ビデオ会議ツールの操作方法を確認してある
- ビデオ会議ツールのアカウントが本名になっている
- ビデオ会議ツールのアイコンはビジネスの場にふさわしいものになっている
- スーツがシワになっていない
- 画面に映る場所の片づけが済んでいる
- 十分な明るさを確保できている

知っておきたい！Web(オンライン)面接のマナー3つ

Web面接にあたり、知っておきたいマナーを解説していきます。

1: 質問が聞き取れなければ遠慮なく聞き返す

オンラインでの面接だからこそ、ネットワークのトラブルはつきもの。だからこそ面接官が言ったことを聞き取れなかったのであれば、遠慮なく以下のように聞き返しましょう。

「申し訳ございません。電波が悪くて質問がわかりませんでした。大変申し訳ございませんが、もう一度質問をお願いできますか？」

質問が聞こえなかったのにもかかわらず、聞こえたふりをして質問と全く関係のない回答をしてしまうと面接官の印象が悪くなってしまいます。

質問が聞こえなかったからといって決してあわてずに、落ち着いて聞き返せば印象は悪くなりません。

▼▼▼添削▼▼▼

質問が聞こえなかったのにもかかわらず、聞こえたふりをして質問と全く関係のない回答をしてしまうと面接官の印象が悪くなってしまいます。

質問が聞こえなかったからといって決してあわてずに、落ち着いて聞き返せば印象は悪くなりません。

2: 服装はスーツを着用する

Web面接は、特別な指定がない限りはスーツの着用が必須です。

自宅で面接を受けられるからこそ気が緩むこともあるかもしれませんが、間違っても「スーツの下はスエット」という状態で面接を受けるのは避けてください。ふとした瞬間に気付かれる恐れがあるだけでなく、「下はスエットでも大丈夫」という態度は面接官にも伝わります。

ただし「私服で面接に参加してください」という指定がある場合は、スーツではなく私服で面接に臨みましょう。

そのような場合でもビジネスシーンにふさわしいオフィスカジュアルがおすすめです。襟付きのシャツやブラウスなど、きちんとした印象を与えるコーディネートを選びましょう。

3: 背景や映り方に気を配る

Web面接時は背景や映り方には気を配ることも大切です。

まず家具や家電などよけいなものが映らないように、あらかじめ移動させておいたり、布をかぶせておいたりしましょう。

「デジタル背景やぼかし背景を使用すればいいのでは？」と感じる人もいるかもしれませんが、それらの機能は使用しないほうが無難です。

ツールの機能を活用することによって画質が荒くなり、面接官があなたの表情を確認できなくなる可能性があるためです。

場合によってはアピール効果が半減してしまうこともあるので、デジタル背景やぼかし背景は使用しないようにしましょう。

同様に、部屋が暗く表情が見えづらいと暗い印象にもつながります。

Web面接は明るい場所で行い、あなたの表情が面接官から確認できるような映り方を考えましょう。

面接官は表情や部屋の様子などの細かな情報もチェックしているため、できるだけ印象がよくなるような映り方を心がけることが大切です。

こんなときはどうする？Web面接のトラブル対処法

Web面接はオンラインだからこそ、対面の面接では起こりえないようなトラブルも想定されます。

そこでトラブルが起こっても落ち着いて対応できるように、トラブルの事例やその対処法を知っておきましょう。

ツールやアプリが落ちる	1. 面接を受けているデバイスとは別のデバイスで、先方に不具合を報告する。 2. ルーターをリセットし、再起動する。
音が聞こえない	1. 面接を受けているデバイスとは別のデバイスで、先方に不具合を報告する。(ツールのチャット機能を活用してもよい。) 2. ミュート設定になっていないか確認する。 3. 音量が低く設定されていないか確認する。 4. 解決しない場合は、ツールから退室して再入場する。 5. 解決しない場合は、ルーターをリセットし、再起動する。
画面が停止した	1. 停止してすぐに復旧したのであれば「失礼しました」と伝えて、面接に戻る。 2. 停止して戻らないのであれば、面接を受けているデバイスとは別のデバイスで、先方に不具合を報告する。(ツールのチャット機能を活用してもよい。) 3. 解決しない場合は、ツールから退室して再入場する。 4. 解決しない場合は、ルーターをリセットし、再起動する。
面接で使用するデバイスが動かなくなった	1. 面接を受けているデバイスとは別のデバイスで、先方に不具合を報告する。 2. 予備のデバイスで面接を受ける。
デバイスの通知音が鳴ってしまった	1. 「失礼いたしました」とすぐにおわびをする。 2. 通知設定をオフにする。

基本的になにかトラブルが起こったら、すぐ先方に不具合を報告しましょう。ビデオ会議ツールのチャット機能や、面接を受けているデバイスとは別のデバイスで連絡します。

万が一の不具合に備えて、予備のデバイスを用意しておいたり、先方のメールアドレスや電話番号などの連絡先を紙に控えておいたりすると落ち着いて対処できます。

上記の対処で不具合が解消しない場合や、不安定な状態が続く場合は、丁寧に謝罪して面接の日程を改めて設定してもらいましょう。

Web(オンライン)面接の気になる疑問

Web面接で多くの人が気になる疑問を解説していきます。

1:カンペは使用しちゃいけないの？

Web面接はオンラインだからこそ、カンペを活用することも可能です。

「カンペを見るべきではない」という意見もありますが、カンペを使用して安心感を得られるのであれば、活用してもいいでしょう。

ただしカンペをそのまま読み上げるのは、面接官に必ずバレてしまいます。書いてあることをただ読むのではなく、頭が真っ白になったときにメモとして活用するのがおすすめです。

基本的にはカンペがなくても受け答えができるよう、面接の練習を重ねておき、困ったときのお守りとしてカンペを活用してみてもいいでしょうか。

2: Web面接はスマホでもいいの？

基本的にはパソコンを活用するのがおすすめですが、どうしても用意できない場合はスマホでもWeb面接を受けられます。

ただし、基本的にスマホはパソコンになにかトラブルがあったときに活用する「予備機」と考えておくのがいいでしょう。

3: Web(オンライン)面接後にお礼のメールをするべき？

面接後のお礼メールは必須ではありません。

採用結果に大きな影響はないのでメールを送らなくても問題ありませんが、あなたが感謝の気持ちを伝えたい場合は送ってもいいでしょう。

まとめ

Web(オンライン)面接は、面接の内容自体は対面のものと変わらないものの、オンラインならではのトラブルに備えておくことが大切です。オンラインだからといって気を抜かず、対面での面接と同様に緊張感を持つことも心がけてください。

Web面接の前日は本記事のチェックリストなどを活用して準備を整え、当日は万全の状態で面接に臨みましょう。

見てほしいポイント(応募者より)

①上位記事だけでなく書籍も参照し、独自性が出るように執筆しましたが、あまり出せなかったかもしれません…。

ペルソナにとって役立つ情報を厳選できているかチェックしてほしいです。

総評 & チェックポイント

- ・書籍も参考にされていて、素晴らしいです◎

- ・文章も内容も特に問題はありません！

さらにペルソナ(就活生)の役に立つ情報を入れるなら...という観点で見っていきます。